

指導教員名	関 和俊、山本 隼年
-------	------------

活動区分	イベント企画型	連携先	企業

## ～ フラグビー選手の体力を身近に感じよう!!対決:フラグビー選手 vs. あなた ～

### 活動の様子



選手へ体力測定の流れの説明



選手の測定:投球スピード



イベントの様子①:測定方法の説明

### 取り組み課題

- ①人間健康学科で学んだ体力測定の方法・評価
- ②コミュニケーション技法の実践演習



イベントの様子②:投球スピード測定

### 企画・活動概要

プロラグビー選手の身体パフォーマンス能力を身近に感じていただくイベントとして、プロラグビー選手とラグビー観戦者の体力の比較を行った。

- ①試合当日(2023年11月13日実施)までに、プロラグビー選手の体力を測定し、ランキング表を作成した。
- ②試合当日、イベントブースに体力測定場所を設置、観戦者に体力測定を実施し、プロラグビー選手との比較を実施した(2日間(2024年1月13日、2月10日))。



選手の測定:立ち幅跳び

### 本学(学生)の役割

- ①プロラグビー選手の体力測定・データ入力・ランキング表の作成
- ②試合当日の体力測定ブースの設置・片付け
- ③試合観戦者(年齢問わず)の体力測定・評価



イベントの様子③:脚筋力測定

### 経緯・背景・目的

本学は、2023年度よりNTTDコモレッドハリケーンズ大阪と連携協定を締結している。

その連携協定の一環として、ホームゲームで催されているイベントの1つとして、試合観戦者の体力測定会を実施した。体力測定の項目は、握力、長座体前屈、反応時間、立ち幅跳び、脚筋力、ラグビーボールの投球スピードとした。

ただ、試合観戦者の体力測定を行うだけではなく、プロラグビー選手と比較することで、選手をより身近に感じてもらうイベントを実施した。



選手への測定結果のフィードバック

### 活動結果・成果・学生が成長した点・学生が身につけた能力

- ①体力測定に関する指導を通して、相手への声のかけ方や間の取り方などの指導能力
- ②幅広い年齢層やグループ参加者など様々なケースがあり、臨機応変に対応するコミュニケーション能力
- ③測定会を円滑に進めるためにも、運営(学生自身)側の連携が必要となり、学生同士の協調性などが向上した



イベントの様子④:受付

### 指導教員および関係者の紹介

#### <指導教員>

人間社会学部  
人間健康学科  
教授・関 和俊(セキ カストン)  
講師・山本 隼年(ヤマモト ハヤト)

<専門・担当科目等>  
専門:運動生理学、トレーニング科学  
担当科目:健康運動科学理論・実習、トレーニング科学理論・実習

#### <関係者・企業等>

レッドハリケーンズ大阪

大阪府大阪市をホストエリアとしてJAPAN RUGBY LEAGUE ONEに所属しているラグビーチーム